

お田植え感謝祭

# みんなで灯そう千枚田

四谷の

## 千枚田だより



第 82 号



ごんげらぼう  
偉業たたえる 火の中に  
継承の誓い ゆれる千枚田 (舞)



千枚の水鏡

六月五日、連谷お助け隊主催 第五回「お田植え感謝祭」くみんなで灯そう千枚田くが開催された。そもそもは、厳しい条件の棚田の田植えも終わり、つかのまのひとときを地域の皆んなで整備された作業道や早苗の畦道にロウソクを灯し、一杯飲ままいかん！と「お田植え感謝祭」を呼びかけたのが始まり：：のつもりであったが、幻想的な雰囲気を出し出す四谷の千枚田の魅力に都市近郊から口込み、耳込みで五百人(推定)も押し掛け、お祭り騒ぎに発展してしまつたことがお助け隊(主催者)の戸惑いであり、ひとつの達成感を得たことでもあった。

本年の目論見として

○連谷小学校を駐車場にお借りし、県道沿いもキャンドルを灯し、交通安全を図つた。(六時半には満車)

○ワンコインシッター箱を設置、協力を仰いだ。

(協力金 六千二百六十七円)



こども陣太鼓



場所取りも大変だ



## 平成 22 年度 掛山麓千枚田保存会総会

5月22日、保存会総会が開かれ、上程された議案はすべてシャンシャンと可決した。

【基本方針】 全国的にも注目を集めている「四谷の千枚田」を、保存・保全活動としての各種事業・行事を引き続き実施し、農業振興と地域の活性化に向けての一助とすべく、下記事業計画を基本方針とする。

### 【具体的事業】

- ① 鞍掛山麓千枚田保存会総会の開催
  - ② 第16回全国棚田(千枚田)サミット参加
  - ③ 環境整備事業の推進
  - ④ 保全に関する啓発活動・情報活動の実施
  - ⑤ 国・県・市等関係機関との連絡調整
  - ⑥ その他、保存活動に必要な事項の調査活動の実施
- (特別事業) 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催関連行事への協力及び受け入れ体制の整備

### 新体制

会長 小山舜二 副会長 林 義明 会計(事務局) 松下誠  
 理事 小山廣一 高橋申治 今泉雅男 高橋孝行 村雲伸一  
 原田英史  
 顧問 高橋圭一 小山泰弘  
 会員 丸山俊明 夏目賢治 金古浩一 古田和男 稲熊富平  
 松下正男 原田武典 川西 忍 丸地光世 夏目宏一  
 梶村兼夫 小山傳治郎 稲熊芳美 丸山一虎 原田勇  
 小山柳二 稲熊良隆 (新会員) 小山秀夫 今泉 徹

① 五月二十二日、方瀬集落生活道路(市道)の環境確保ため保存会、方瀬集落の出役により実施した。かつては田口、飯田方面の主要道であったが、稲目トンネルが開通と同時に市道に降格。管理整備も行き届かずお化けの出そうなほどに樹木がうっそうと覆い繁り、村人も防犯上好ましくないと心配の種であった。今回の整備は「あいち森と緑づくり」事業の一助として実施できたもので、中山間地域の活性化にありがたい心づくしと、集落全員が感謝の念を抱いた。



② 五月二十六日、保存会、連谷お助け隊は六月五日開催のお田植え感謝祭「灯そう千枚田」(お助け隊主催)を視野にふれあい広場、千枚田入り口付近や会場周辺の環境景観整備を実施した。(あいち森と緑づくり事業活用)

### 横浜ゴム植樹祭参加

五月二十二日、新入社員研修や菓出荷など、交流の深い横浜ゴム(株)新城工場において第二期「千年の杜」植樹祭に保存会、連谷お助け隊が参加、心地よい汗をかいた。



### 田の草取りと梅収穫

六月十日、豊橋調理製菓専門学校(四十名)は五日の生育環境調査。お田植え感謝祭お手伝いに次いで実習田の田の草取り、梅の収穫を行った。なお、調理師の卵たちはニジマ

スの塩焼きや野菜のかき揚げなどの調理実習も併せて行った。  
**モリアオガエルの産卵**  
 六月八日、南天の木の下とシヨウブの畦面の二ヶ所に卵塊を確認した。今年は天候の影響か、例年に比べ分布域全体とも少ない。



### 千枚田エコツアー

六月十九日、鳳来寺山自然科学博物館主催「生物多様性を学ぶ現地見学会」夏の棚田と生きものたち」(指導講師：小椋克好同館友の会会長、小山舜二同館学術委員)が愛郷島田の棚田・四谷の千枚田を観察コースに行われる。  
**ふるさと指導員**

愛知県ふるさと水と土指導員に林 義明、原田英史の両名が認定された。両者は保存会、お助け隊の重要ポストにあり、千枚田の保全、継承、地域の結束、活性化に取り組む若いエネルギーであり、今後、一層の活躍が期待される人材である。

行 平成二十二年六月十五日  
 鞍掛山麓千枚田保存会  
 発 文 責 小山舜二